

入試年度	2024	入試方式	社会人（春季）	課程	修士
研究科	法学	専攻	法学	領域（分野）	
出題のねらい					
<p>法学研究科では、法的な基礎学力を有するとともに、ジェンダーの視点や人権理解に強い関心を有することを入学者受け入れの方針としています。</p> <p>社会人特別選抜では、特に後者の、ジェンダー視点や人権理解への関心を有していることの方を重視するので、専門科目の試験ではなく小論文を課しています。</p> <p>今年度の問題は、少年法の是非か、あるいは死刑制度と裁判員制度か、の選択ではありますが、あえて課題文等は提示していませんので、刑事法・少年法に限らず、憲法やジェンダー法等の観点からも、自由に論点を設定して論じることができます。</p> <p>犯罪や非行を犯す人、被害者、市民、どの立場から論じるのでも構いませんが、その論述が上記の受け入れ方針に沿っているかということと、思考力および文章力が求められます。</p>					
解答・解答例または採点時の評価ポイント					
<p>判断基準は、意見の良し悪しではなく、自身の主張を論理一貫したものとして述べているか、主張に説得力を持たせるための根拠を示すことができているかです。</p> <p>また、その主張を展開するための論理的思考力、および、自身の考えを正確に述べるための文章表現力も評価の対象となります。</p>					